

# 競技種目の説明（2016年版）

2016年1月  
ガンドッグ・レトリーブ・トライアル協会

## 【全クラス・全競技種目に共通の事項】

- ・会場が許す限り、発砲音を使用します。
- ・会場内のブッシュや林は当然に使用しますが、会場によっては、種目を問わず、柵越え、池や小川などの水場や水辺の利用を組み入れる場合があります。
- ・競技会場や開催時期によりコースの条件が異なるため、距離・走行方向・制限時間等の各種目の設定は一定ではありませんし、ジャッジの立ち位置も変わります。また、各種目説明中の距離は目安です。
- ・全クラス・全犬種、協会指定のダミーを使用します。
- ・アクシデント等による競技やり直しはジャッジの判断となります。
- ・**競技およびそれに対するの評価は、待機位置からスタート位置へ移動する時に始まり、ダミー回収後にジャッジがリード・カラーの装着を指示し競技終了を宣言した時に終了します。**
- ・**全クラス、競技開始後は、犬に触れてはいけません。故意に触れた場合には、減点対象となります。**
- ・参加者は各種目の内容やルールを事前に十分理解してから参加してください。
- ・**競技中、ジャッジからは、待機位置からスタート位置までの移動開始・誘導、リード・カラーの取外し、スタート合図（「どうぞ」）、リード・カラーの装着、競技終了の宣言、以外の指示はありません。**
- ・**ブラインドダミーの位置・ダミー回収順以外の競技種目内容の個別説明はありません。**
- ・ダミー投下の合図は競技者のタイミングではなくジャッジの判断で行います。
- ・複数組での種目では、エントリー番号が若いペアがジャッジ側になるように待機して下さい。
- ・ブラインド × ブラインドの競技では、各スロワーが発砲音を1発ずつ鳴らします。
- ・マーキング × ブラインドの競技では、各スロワーが発砲音を1発ずつ鳴らします。
- ・マーキング × マーキングの競技では、各スロワーが発砲音を1発ずつ鳴らします。
- ・スロワーによる発砲音のタイミングは、マーキングダミーの場合、ジャッジの合図を受けてダミー投下する前に鳴らします。ブラインドダミーの場合は、（既にダミーの設置が完了していることを前提に、）ジャッジの合図を受けて速やかに鳴らします。

## 【エントリーテスト】

エントリーテストでも、発砲音を使用します。

10mの呼び戻し : 制限時間は10秒で、動いた場合のやり直しは1回認められます。

20mのマーキング : 制限時間は40秒で、ダミーは競技会用を使用します。

- ★ 以下の**個別の競技種目説明**をご覧になる際には、**必ず**、上記の  
【全クラス・全競技種目に共通の事項】と各クラスの《**共通事項**》を併せて  
ご覧ください。

## [ノービスクラス]

### 《共通事項》

- ・以下のリード・カラーについての説明は、全種目共通です。
- ・ダミー投下時には、リード・カラーは装着したままで構いません。
- ・ジャッジの指示でリードを外し、ジャッジのスタート合図後に声符でスタートさせます。
- ・リードを外してスタートさせる必要がありますが、カラーは装着しままで競技を行なえます。
- ・フライング・ランニングインを阻止するために、スタートさせる直前までカラーを押えていることができ、押さえていても減点にはなりません。
- ・（リード・カラーを装着中でも）フライング・ランニングインは、大幅減点または失格となります。
- ・ダミー回収後に、ジャッジの指示によりリード（・カラー）を装着します。

### 《各種目の流れ》

#### N 1 : マーキングシングル・シッピング 1組 距離 30m~50m

##### 【1組で複数ダミーに興味を示すことなく回収する】

競技ペアは、ジャッジにコールされたら待機位置からジャッジのいるスタート位置に移動する。

ダミーを投げ入れる場所には、複数のダミーが事前に設置されている。

スロワーは、ジャッジの指示により発砲音またはマーク声の後、ダミーを投げ入れる。

ハンドラーはジャッジの指示に従い犬を送り出し、投げ入れられたダミーと先に置かれているダミーのうち1つだけを回収させる。どのダミーを回収してもよい。

#### N 2 : DRIVEN マーキングシングル 2組以上 距離 30m~50m

##### 【送り出された犬が他の組に気をとられずにダミーを回収し、待機中の組は作業中の組の邪魔にならないように静かにしている】

競技ペアは、ジャッジにコールされたら待機位置からジャッジのいるスタート位置に移動する。

スタート位置はジャッジの指定する場所とし、2組以上が横1列に並んでから競技を開始する。

スロワーは、ジャッジの指示により発砲音またはマーク声の後、ダミーを投げ入れる。

ジャッジから指名されたハンドラーは、ジャッジの指示でリード（・カラー）を外して犬を送り出し、投げ入れられたダミーを回収させる。

ハンドラーは、回収後、ジャッジの指示でリード（・カラー）を装着する。

スロワーは、ジャッジの指示により発砲音またはマーク声の後、再度、ダミーを投げ入れる。

ジャッジは次のハンドラーを指名し、指名を受けたハンドラーは1組目と同じように競技を行なう。

#### N 3 : ロングマーキングシングル 1組 距離 50m~80m

##### 【マーキングにより位置を確認しているダミーを回収する】

競技ペアは、ジャッジからコールされたら待機位置からジャッジのいるスタート位置に移動する。

スロワーは、ジャッジの指示により発砲音またはマーク声の後、ダミーを投げ入れる。

ハンドラーはジャッジの指示に従い犬を送り出し、投げ入れられたダミーを回収させる。

#### N 4 : マーキングダブル 1組 距離 30m~50m

##### 【マーキングにより2本とも位置を確認しているダミーを回収する】

競技ペアは、ジャッジからコールされたら待機位置からジャッジのいるスタート位置に移動する。

スロワーは、ジャッジの指示により発砲音またはマーク声の後、1本目のダミーを投げ入れる。

続けてスロワーは、発砲音またはマーク声の後、2本目のダミーを投げ入れる。

ハンドラーはジャッジの指示に従い犬を送り出し、投げ入れられたダミーを回収させる。

回収の順序はどちらからでもよい。

## [ミドルクラス]

### 《共通事項》

- ・以下のリード・カラーについての説明は、全種目共通です。
- ・ダミー投下時には、リード・カラーは装着したままで構いません。
- ・ジャッジの指示でリードとカラーを外し、ジャッジのスタート合図後に声符でスタートさせます。
- ・リードまたはカラーを装着したままでスタートさせた場合は失格です。
- ・（リード・カラーを装着中でも）フライング・ランニングは大幅減点または失格です。
- ・ダミー回収後に、ジャッジの指示によりリード・カラーを装着します。

### 《各種目の流れ》

#### M1 : DRIVEN マーキングシングル・ SHIPPING 2組以上 距離 30m~80m

**【送り出された犬が他のペアに気をとられず、また啞えたダミー以外のダミーに興味を示すことなく回収し、待機中のペアは作業中のペアの邪魔にならないように静かにしている】**

競技ペアは、ジャッジからコールされたら待機位置からスタート位置に移動する。  
スタート位置はジャッジの指定する場所とし、2組以上が横1列に並んでから競技を開始する。  
ダミーを投げ入れる場所には、複数のダミーが事前に設置されている。  
スロワーは、ジャッジの指示により発砲音またはマーク声の後、ダミーを投げ入れる。  
ジャッジから指名されたハンドラーは、ジャッジの指示でリードとカラーを犬から外して犬を送り出し、投げ入れられたダミーと先に置かれているダミーのうち1つだけを回収させる。  
どのダミーを回収してもよい。  
ハンドラーは、回収後、ジャッジの指示でリードとカラーを装着する。  
スロワーは、ジャッジの指示により発砲音またはマーク声の後、再度、ダミーを投げ入れる。  
ジャッジは次のハンドラーを指名し、指名を受けたハンドラーは1組目と同じように競技を行なう。

#### M2-1 : WALKED UP シングル 2組以上 距離 30m~80m

**【進行役ジャッジとラインを作り、一定の速度で一定の距離を移動しながら、ダミーを回収する。待機中のペアは、作業中のペアの邪魔にならないように静かにしている】**

競技ペアは、ジャッジからコールされたら待機位置からスタート位置に移動する。  
スタート位置は進行役ジャッジの指定する場所とし、進行役ジャッジと2組以上が横1列に並んで競技を開始する。  
進行役ジャッジの指示により、進行方向へライン（横方向に並んだ状態）を作り移動を行う。  
ハンドラーは、進行役ジャッジの速度に合わせて移動を行ないながら犬に脚側歩行をさせ、その動きに合わせて、スロワーも一緒に距離を保ちながら移動する。  
一定の距離を移動後、ジャッジはスロワーに指示し、スロワーは発砲音またはマーク声の後、ダミーを投げ入れる。  
発砲音またはマーク声と同時に移動をやめ、ジャッジから指名されたハンドラーは、ジャッジの指示でリードとカラーを犬から外して犬を送り出し、投げ入れられたダミーを回収させる。  
ハンドラーは、回収後、ジャッジの指示でリードとカラーを装着する。  
1組目が終了すると、1組目のときと同じように全体で移動しながら、後のペアもダミーを回収する。

## **M2-2 : WALKED UP ダブル 2組以上 距離 30m~80m**

**【進行役ジャッジとラインを作り、一定の速度で一定の距離を移動しながら、2本のダミーを回収する。待機中のペアは、作業中のペアの邪魔にならないように静かにしている】**

競技ペアは、ジャッジからコールされたら待機位置からスタート位置に移動する。

スタート位置はジャッジの指定する場所とし、進行役ジャッジと2組以上が横1列に並んで競技を開始する。

進行役ジャッジの指示により、進行方向へライン（横方向に並んだ状態）を作り移動を行う。

ハンドラーは、進行役ジャッジの速度に合わせて移動を行ないながら犬に脚側歩行をさせ、その動きに合わせて、スロワーも一緒に距離を保ちながら移動する。

一定の距離を移動後、ジャッジはスロワーに指示し、スロワーは発砲音またはマーク声の後、ダミーを2本投げ入れる。

発砲音またはマーク声と同時に移動をやめ、ジャッジから指名されたハンドラーは、ジャッジの指示でリードとカラーを犬から外して犬を送り出し、投げ入れられた2本のダミーをジャッジの指定する順序で回収させる。

ハンドラーは、回収後、ジャッジの指示でリードとカラーを装着する。

1組目が終了すると、1組目のときと同じように全体で移動しながら、後のペアもダミーを回収する。

## **M3 : ダブル 1組 距離 30m~80m**

**【ジャッジの指定する順序で、ブラインドで隠されているダミーの場合はサーチングで、スロワーにより投げ入れられるダミーの場合はマーキングで、2本のダミーを回収する】**

競技ペアは、ジャッジからコールされたら待機位置からジャッジのいるスタート位置に移動する。

スロワーは、ブラインドの場合は、ジャッジの指示により事前にダミーをセットし、マーキングの場合は、ジャッジの指示により、発砲音またはマーク声の後、ダミーを投げ入れる。

続けてスロワーは、2本目のダミーを、ブラインドの場合は事前にセットし、マーキングの場合は発砲音またはマーク声の後に投げ入れる。

ハンドラーはジャッジの指示にしたがって犬を送り出し、ジャッジに指定された順序で2本のダミーを回収させる。

なお、2本のダミーの位置関係は、会場の地形などの諸要素を考慮して、V型、I型、L型、前後など、その都度変わる。

スロワーは2人で行うこともある。

## **M4-1 : ダイバージョン ダブル 1組 距離 30m~80m**

**【マーキングにより投下位置の確認できる1本目のダミーを回収中に発砲音・マーク声付きで投下される2本目のダミーに刺激・誘惑されずに1本目を回収し、2本目のダミーも回収する】**

競技ペアは、ジャッジからコールされたら待機位置からジャッジのいるスタート位置に移動する。

スロワーは、ジャッジの指示により、発砲音またはマーク声の後、ダミーを投げ入れる。

ハンドラーはジャッジの指示により犬を送り出し、投げ入れられたダミーを回収させる。

ジャッジは犬がダミーを回収して復路走行時に、一定地点を過ぎたらスロワーに指示を出し、スロワーは2本目のダミーを設置または投げ入れた後に発砲音またはマーク声を発する。

2本目の投下位置は犬が確認できることもあるし、できないこともある。

ハンドラーは1本目を回収後、2本目の回収も犬に行なわせる。

**M4-2 : ダイバージョン シングル 1組 距離 30m~80m**

**【マーキングにより投下位置の確認できるダミーの回収中に投下される発砲音・マーク声付きの2本目のダミーに刺激・誘惑されずに最初のダミーを回収する】**

競技ペアは、ジャッジからコールされたら待機位置からジャッジのいるスタート位置に移動する。

スロワーは、ジャッジの指示により、発砲音またはマーク声の後、ダミーを投げ入れる。

ハンドラーはジャッジの指示により犬を送り出し、投げ入れたダミーを回収させる。

ジャッジは犬がダミーを回収して復路走行時に、一定地点を過ぎたらスロワーに指示を出し、スロワーは発砲音またはマーク声の後、犬の前方を横切るように囿のダミーを投げ入れる。

囿のダミーは回収しない。

**M5 : ロングマーキング 1組 距離 100m~150m**

**【マーキングにより投下位置を確認しているダミーを回収する】**

競技ペアは、ジャッジからコールされたら待機位置からジャッジのいるスタート位置に移動する。

スロワーは、ジャッジの指示により、発砲音またはマーク声の後、ダミーを投げ入れる。

ハンドラーはジャッジの指示により犬を送り出し、投げ入れられたダミーを回収させる。

**M6 : ロングブラインド 1組 距離 100m~150m**

**【隠されているブラインドダミーをサーチングで回収する】**

競技ペアは、ジャッジからコールされたら待機位置からジャッジのいるスタート位置に移動する。

スロワーは犬から確認できないようにダミーを設置する（隠す）。

ジャッジはハンドラーにダミーの設置位置を伝える。

ハンドラーはジャッジの指示により犬を送り出し、隠されたダミーを回収させる。

## [アドバンストクラス]

### 《共通事項》

- ・以下のリード・カラーについての説明は、全種目共通です。
- ・アドバンストクラスは待機位置でリード・カラーを外したうえでスタート位置に移動して下さい。
- ・ジャッジはリード・カラーの装着の指示のみで、外す指示はしませんので十分注意して下さい。
- ・リード・カラーを外さずにスタート位置への移動を開始した場合、その時点で失格となります。
- ・ジャッジのスタート合図後に声符でスタートさせます。
- ・ダミー回収後に、ジャッジの指示によりリード・カラーを装着します。

### 《各種目の流れ》

#### A 1 : DRIVEN マーキングシングル・シッピング 2組以上 距離 30m~80m

**【送り出された犬が他のペアに気をとられず、また啜えたダミー以外のダミーに興味を示すことなく回収し、待機中のペアは作業中のペアの邪魔にならないように静かにしている】**

競技ペアは、ジャッジからコールされたら待機位置からスタート位置に移動する。

スタート位置はジャッジの指定する場所とし、2組以上が横1列に並んでから競技を開始する。

ダミーを投げ入れる場所には、複数のダミーが事前に設置されている。

スロワーは、ジャッジの指示により発砲音またはマーク声の後、ダミーを投げ入れる。

ジャッジから指名されたハンドラーは、ジャッジの指示で犬を送り出し、投げ入れられたダミーと先に置かれているダミーのうち1つだけを回収させる。

どのダミーを回収してもよい。

スロワーは、ジャッジの指示により発砲音またはマーク声の後、再度、ダミーを投げ入れる。

ジャッジは次のハンドラーを指名し、指名を受けたハンドラーは1組目と同じように競技を行なう。

全てのペアが回収し終わったら、ジャッジは、全ハンドラーにリードとカラーの装着を指示する。

#### A 2-1 : WALKED UP シングル 2組以上 距離 30m~80m

**【進行役ジャッジとラインを作り、一定の速度で一定の距離を移動しながら、ダミーを回収する。待機中のペアは、作業中のペアの邪魔にならないように静かにしている】**

競技ペアは、ジャッジからコールされたら待機位置からスタート位置に移動する。

スタート位置は進行役ジャッジの指定する場所とし、進行役ジャッジと2組以上が横1列に並んで競技を開始する。

進行役ジャッジの指示により、進行方向へライン（横方向に並んだ状態）を作り移動を行う。

ハンドラーは、進行役ジャッジの速度に合わせて移動を行ないながら犬に脚側歩行をさせ、その動きに合わせて、スロワーも一緒に距離を保ちながら移動する。

一定の距離を移動後、ジャッジはスロワーに指示し、スロワーは発砲音またはマーク声の後、ダミーを投げ入れる。

発砲音またはマーク声と同時に移動をやめ、ジャッジから指名されたハンドラーは、ジャッジの指示で犬を送り出し、投げ入れられたダミーを回収させる。

1組目が終了すると、1組目のときと同じように全体で移動しながら、後のペアもダミーを回収する。

全てのペアが回収し終わったら、ジャッジは、全ハンドラーにリードとカラーの装着を指示する。

#### **A 2-2 : WALKED UP ダブル 2組以上 距離 30m~80m**

**【進行役ジャッジとラインを作り、一定の速度で一定の距離を移動しながら、2本のダミーを回収する。待機中のペアは、作業中のペアの邪魔にならないように静かにしている】**

競技ペアは、ジャッジからコールされたら待機位置からスタート位置に移動する。

スタート位置はジャッジの指定する場所とし、進行役ジャッジと2組以上が横1列に並んで競技を開始する。

進行役ジャッジの指示により、進行方向へライン（横方向に並んだ状態）を作り移動を行う。

ハンドラーは、進行役ジャッジの速度に合わせて移動を行ないながら犬に脚側歩行をさせ、その動きに合わせて、スロワーも一緒に距離を保ちながら移動する。

一定の距離を移動後、ジャッジはスロワーに指示し、スロワーは発砲音またはマーク声の後、ダミーを2本投げ入れる。

発砲音またはマーク声と同時に移動をやめ、ジャッジから指名されたハンドラーは、ジャッジの指示で犬を送り出し、投げ入れられた2本のダミーをジャッジの指定する順序で回収させる。

1組目が終了すると、1組目のときと同じように全体で移動しながら、後のペアもダミーを回収する。

全てのペアが回収し終わったら、ジャッジは、全ハンドラーにリードとカラーの装着を指示する。

#### **A 3 : ダブル 1組 距離 30m~80m**

**【ジャッジの指定する順序で、ブラインドで隠されているダミーの場合はサーチングで、スロワーにより投げ入れられるダミーの場合はマーキングで、2本のダミーを回収する】**

競技ペアは、ジャッジからコールされたら待機位置からジャッジのいるスタート位置に移動する。

スロワーは、ブラインドの場合は、ジャッジの指示により事前にダミーをセットし、マーキングの場合は、ジャッジの指示により、発砲音またはマーク声の後、ダミーを投げ入れる。

続けてスロワーは、2本目のダミーを、ブラインドの場合は事前にセットし、マーキングの場合は発砲音またはマーク声の後に投げ入れる。

ハンドラーはジャッジの指示にしたがって犬を送り出し、ジャッジに指定された順序で2本のダミーを回収させる。

なお、2本のダミーの位置関係は、会場の地形などの諸要素を考慮して、V型、I型、L型、前後など、その都度変わる。

スロワーは2人で行うこともある。

#### **A 4-1 : ダイバージョン ダブル 1組 距離 30m~80m**

**【マーキングにより投下位置の確認できる1本目のダミーを回収中に発砲音・マーク声付きで投下される2本目のダミーに刺激・誘惑されずに1本目を回収し、2本目のダミーも回収する】**

競技ペアは、ジャッジからコールされたら待機位置からジャッジのいるスタート位置に移動する。

スロワーは、ジャッジの指示により、発砲音またはマーク声の後、ダミーを投げ入れる。

ハンドラーはジャッジの指示により犬を送り出し、投げ入れられたダミーを回収させる。

ジャッジは犬がダミーを回収して復路走行時に、一定地点を過ぎたらスロワーに指示を出し、スロワーは2本目のダミーを設置または投げ入れた後に発砲音またはマーク声を発する。

2本目の投下位置は犬が確認できることもあるし、できないこともある。

ハンドラーは1本目を回収後、2本目の回収も犬に行なわせる。

**A 4-2 : ダイバージョン シングル 1組 距離 30m~80m**

**【マーキングにより投下位置の確認できるダミーの回収中に投下される発砲音・マーク声付きの2本目のダミーに刺激・誘惑されずに最初のダミーを回収する】**

競技ペアは、ジャッジからコールされたら待機位置からジャッジのいるスタート位置に移動する。

スロワーは、ジャッジの指示により、発砲音またはマーク声の後、ダミーを投げ入れる。

ハンドラーはジャッジの指示により犬を送り出し、投げ入れたダミーを回収させる。

ジャッジは犬がダミーを回収して復路走行時に、一定地点を過ぎたらスロワーに指示を出し、スロワーは発砲音またはマーク声の後、犬の前方を横切るように囿のダミーを投げ入れる。

囿のダミーは回収しない。

**A 5 : ロングマーキング 1組 距離 100m~150m**

**【マーキングにより投下位置を確認しているダミーを回収する】**

競技ペアは、ジャッジからコールされたら待機位置からジャッジのいるスタート位置に移動する。

スロワーは、ジャッジの指示により、発砲音またはマーク声の後、ダミーを投げ入れる。

ハンドラーはジャッジの指示により犬を送り出し、投げ入れられたダミーを回収させる。

**A 6 : ロングブラインド 1組 距離 100m~150m**

**【隠されているブラインドダミーをサーチングで回収する】**

競技ペアは、ジャッジからコールされたら待機位置からジャッジのいるスタート位置に移動する。

スロワーは犬から確認できないようにダミーを設置する（隠す）。

ジャッジはハンドラーにダミーの設置位置を伝える。

ハンドラーはジャッジの指示により犬を送り出し、隠されたダミーを回収させる。